

「ピロリ菌について」



内科

そうま りゅうすけ
相馬 颯介

山香病院だより vol.174

4月より内科医として山香病院で勤務しております。相馬颯介と申します。私は専門分野が消化器内科ということで、内科外来や病棟診療の他に胃カメラや大腸カメラなど内視鏡検査や治療も行っています。

皆様、ピロリ菌というのはご存知でしょうか。最近ではメディアなどでも取り上げられる機会が多いため一度は耳にしたことがある方が多いと思います。ピロリ菌とは胃内に感染する菌で、普通の菌とは違い胃酸の中でも生きのびることができません。小児期に家庭感染などで感染し、基本的には一生感染

が持続します。ピロリ菌感染をすることで胃内に慢性炎症を引き起こし、胃癌や胃潰瘍、十二指腸潰瘍といった上部消化管疾患の原因になります。特に近年では胃癌の原因の98%がピロリ菌感染によるものであるとされており、感染していない人に比べて胃癌発生リスクは15〜20倍あると言われています。またピロリ菌感染は胃や十二指腸の病気だけでなく、貧血や血液疾患などの原因にもなるということが近年明らかになってきました。

このピロリ菌は検査で陽性と判明したら除菌治療を行うことが可能です。

まずは胃カメラで胃の中を観察し、その後血液検査や尿検査などで診断されます。治療については薬を1週間内服するのみです。一度で除菌できなかつた場合複数回行うこともありますが、ほとんどの場合2回目までの治療で除菌が可能です。除菌治療が成功すれば胃癌や胃潰瘍のリスクが減らせるだけでなく、先ほど述べたような上部消化管以外の疾患の予防にもつながります。注意点としては、除菌治療が成功した後も感染したことの無い人に比べると胃癌のリスクは高いので定期的な内視鏡検査が必要で、可能であれば年に1回受けることをお勧めします。また治療薬による副作用を起こしてしまったり、薬剤アレルギーを起こすこともあるのでそちらも注意が必要です。

ピロリ菌治療については特に年齢制限はありません。若いうちに判明すればその分早く治療を行うことが可能です。早いうちに除菌治療を行うことができれば胃癌の予防効果が高いという報告もあります。胃カメラ検査は検診でも受けることができる検査なので、年齢に関わらず一度も受けたことがない人はぜひ一度受けることをご検討いただければと思います。また陽性判定で除菌治療を受けていないという方はぜひ一度受診いただき除菌治療を検討していただければと思います。

